安全な麻酔のための国際会議2024（ICAPS2024）
コーヒーブレイクセミナー第3日

日時：2024年 2月11日（日）9：15 ～ 9：55

会場：京王プラザホテル 南館 5階 エミネンス

医療の未来を紡ぐ ー「患者安全」のための戦略と課題ー

Shaping the Future of Healthcare: Strategies and Challenges for “Patient Safety”

座長：江木 盛時先生（京都大学医学部附属病院 麻酔科）

演者：植野 剛先生

（株式会社フィリップス・ジャパン Medical Director, CALS Japan Working Group代表,
Policy makers lab Managing partner, 兼医療・ヘルスケア分野ワーキンググループ代表）

共催：公益社団法人日本麻酔科学会
株式会社フィリップス・ジャパン

セミナーのご紹介

植野 剛 先生

（株式会社フィリップス・ジャパン Medical Director,
CALS Japan Working Group代表, Policy makers lab
Managing partner, 兼 医療・ヘルスケア分野ワーキング
グループ代表）

医療の未来を紡ぐ
ー「患者安全」のための戦略と課題ー

Shaping the Future of Healthcare: Strategies and Challenges for “Patient Safety”

- 演者は、心臓血管外科医師として13年余りの経験を積んだ後、現在、1）Philips の Medical Director、2）CALS Japan Working Groupの代表、3）Policy makers lab（PML）の Managing partner 兼 医療・ヘルスケア分野ワーキンググループの代表を務めている。これらの経験を通して、一貫して本会のメインテーマでもある「患者安全 Patient Safety」についても重視してきた。これら多様な視点から「患者安全」について再考してみたい。
- しかし、当然のことながら、我々のイノベーションは、「革新的である」ことのみならず、「患者の安全と質（Patient Safety & Quality : PS&Q）」が担保されたものでなくてはならない。従って、我々は PS&Q を最優先事項としており、例えば、昨年10月3日には、（病院で手術前に行われるような）「タイムアウト」を PS&Q を主題として世界一斉に実施し、我々一人ひとりが PS&Q の確保にどのように貢献しているのか、そして今後していけるのかについて、再考する時間を設けた。
- CALS Japan Working Group は、ACLS (Advanced Cardiovascular Life Support) が有効でない、もしくは時として有害な場合もある、心臓血管外科術後患者の心停止に特化した蘇生プロトコールである CALS (Cardiac Surgery Advanced Life Support) を日本にも導入・普及させることで、「患者の安全」を確保し、医療の質をさらに向上させることを目的として活動している。
- PML は、世の中を良い方向に変革したいという官民の有志が、互いの知識の共有や政策立案に向けた議論を通じて、既存の枠組みにとらわれない政策案集を作る任意団体である。ここでも演者は、「患者の安全」を含む「医療の質」、そして「医療の持続可能性」を高めるための政策案につき、議論を進めている。

株式会社フィリップス・ジャパン
〒108-8507　東京都港区港南2-13-37　フィリップスビル
www.philips.co.jp/healthcare

記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

©2024 Koninklijke Philips N.V.